

整理や収納を見直したり、システムをカイゼンしたことで生まれ変わった医院の知恵をご紹介します。



宮本麻美 歯科衛生士
小原啓子 代表取締役
藤田昭子 歯科衛生士

(株)デンタルタイアップ

移転前から スタッフ全員と力を合わせ 計画する！



白と木を基調とした診療室

不要な掲示物は外し、スムーズにユニットへ誘導。白いキャビネットは買い替え、全て中まで統一！床は毎日、丁寧に清掃。掃除は気を抜けない作業の一つ。

今回の
カイゼン医院

カイゼン歴 11年目

医療法人恒生堂
とみもと歯科医院
大阪府大阪市

院長 富本昌之
歯科医師 3人
歯科衛生士 7人
歯科助手・受付 6人(うち非常勤1人)

ユニット：7台



在庫置き場や休憩スペースとして使っていた2畳ほどの空間を利用し、アクティビティールームを設置したが、狭いのが課題だった。



After

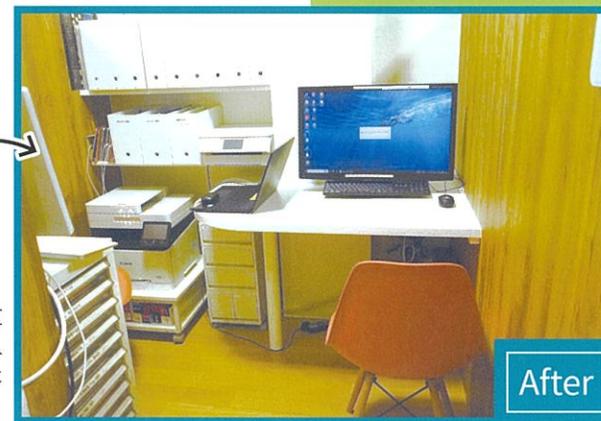


移転後は、トレーニングも快適にできる広い空間に。

カウンセリングルーム



PCコーナーと洗面台の1つを撤去し、カウンセリングコーナーに。旧医院でも、整理整頓の基本はできていた。



After



カウンセリングルームの一角にPCコーナーを設け、スタッフの個人ボックスも設置。患者さんもゆったり座れるスペースが出来た。

移転の成功はスタッフの力を合わせること！

本誌2回目の登場となるとみもと歯科医院は、2022年に移転しました。

移転計画が立ち上がると、通常の業務に加えて移転準備の時間も必要になりますが、この事前の話し合いが大切。スタッフ全員と、「移転する理由」「移転先でやりたいこと」を共有し、綿密に計画を立てました。以前から小児の早期矯正に力を入れていたので、アクティビティ

ルームの増設を軸に計画は進みました。移転前から準備をしっかりとっていると、移転後の慣れない環境でも混乱なく業務を行えます。

現在は、カイゼンがよりレベルアップ。モノに統一感を持たせながら、機能性の向上によって効率化を進め、診療時間の短縮にも成功しました。